



⑩ **近藤歯科医院**
登録有形文化財
平成18年3月2日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和2年

木造2階建ての医院棟を核として、平屋建の住居棟が接し、全体はL字型の形態になる。通り側の外観は、ハーフティンバー風の真壁造で、壁をドイツ風に仕上げ、屋根は棧瓦葺。



⑮ **宮前家住宅主屋**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和5年

建築家・山田醇(じゅん)の設計になる木造2階建、瓦葺。外観は建具等を含め洋風を基調とするが、内部は和風となり、和洋が巧みにまとめられている。門も登録されている。

秩父市中心市街地の歴史と

登録有形文化財

平成29年5月26日

秩父市教育委員会文化財保護課

※名称太文字…指定・登録文化財



⑤ **安田屋**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和5年頃

角地に建つ木造2階建(一部3階建)、鉄板葺、正面の東側と両側面の壁を高く立上げ、背面側に鉄板葺の片流れ屋根を架ける。洋風意匠を摂取した店舗兼用住宅。



⑪ **秩父銘仙出張所一**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和初期

大正時代から昭和時代初期に秩父銘仙の取引で賑わった当時、近在近郷の織物工場が製品取引をするための出張所が建ち並んでいた。2戸1棟形式で、外観は基本的に中央で左右対称になる。



⑯ **秩父神社社殿**
付棟札・神輿
県指定有形文化財
昭和30年11月1日指定
秩父市番場町

延喜式内社で、12月3日の秩父祭は有名。現在の社殿は天正20年(1592)9月徳川家康が社領57石を寄贈して代官成瀬吉右衛門に建造させたものと伝えられ、権現造の美しさは県下でも代表的なものである。



① **秩父神社大祭御旅所**
市指定史跡
昭和29年11月3日指定
秩父市熊木町(秩父公園内)

秩父神社大祭の神幸祭は、12月3日この御旅所中心に行われる。重要有形民俗文化財「秩父祭屋台」が曳きそろえられるのもこの御旅所である。亀の子石は、江戸末期まで秩父神社が妙見宮といわれ、妙見信仰に由来する。



⑥ **カフェ・パリー**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和2年

木造2階建、鉄板葺、通り側壁面を高く立上げ、片流れの鉄板葺屋根を架け、小屋裏窓を設けて正面3階建にみせている。外観を洋風とした店舗兼用住宅。



⑫ **秩父銘仙出張所二**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和初期

木造2階建、切妻造、瓦葺、平入、建築面積88㎡で、正面2階軒を出桁造、1階は下屋を設ける。正面は真壁造で軽快な壁面構成をみせ、外観は左右対称の2戸1棟形式になる。



⑰ **旧新井商店居宅兼店舗**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市本町
建築年代：明治初年

店舗は切妻造、平入、木造2階建(一部平屋建)、瓦葺、旧秩父往還に東面して建ち、南妻面に平屋建の旧事務所を張り出す。寄棟造、平屋建の主屋は後方に廊下で接続する。倉庫も登録。



② **だんご坂**
秩父市東町

12月3日夜、秩父神社御神幸行列に2基の笠鉦と4基の屋台が供奉する。笠鉦・屋台はだんご坂にさしかかると、2本の曳綱のほか増綱2本、芯綱4本を出し、花火が打ち上げられる中、勇壮にこの坂を曳き上げる。傾斜角は最大で約25度、長さ20メートル。



⑦ **旧大月旅館別館**
登録有形文化財
平成18年3月2日登録
秩父市番場町
建築年代：大正15年

木造2階建、金属板葺、外壁を高く立ち上げた、いわゆる看板建築。角は隅切の形状で、1階入口は竹をモチーフにしたと思われる柱型を設ける。



⑬ **秩父銘仙出張所三**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和初期

建物は木造2階建、切妻造で、正面2階軒を出桁造、1階には下屋を設ける。2戸1棟形式で、正面は2階が真壁造、1階がガラス戸を入れた開放的な店構え。当時の商業地区の景観。



⑱ **旧柿原商店店舗及び主屋**
登録有形文化財
平成14年8月21日登録
秩父市本町
建築年代：昭和5年

柿原商店は、大正時代より、この地で繁栄をきわめた銘仙問屋であった。敷地内には店舗兼主屋のほか3棟の土蔵・石塀も配されている。



③ **秩父鉄道御花畑駅**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市東町
建築年代：大正6年

秩父～影森間の開通に伴い建設された木造平屋建の駅舎。事務室・待合室・改札・プラットホームからなり、キングポストトラスの小屋組を組み、切妻造、スレート葺の大屋根を架ける。



⑧ **小池煙草店**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：昭和初期

角地に建つ木造2階建、鉄板葺、通り側の壁を高く立上げ、背面側に鉄板葺の片流れ屋根を架ける。通り側は隅を丸めて連続した壁面とする。現在はカフェ・ホテルとして活用されている。



⑭ **藪田家住宅主屋**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市番場町
建築年代：明治末期

明治末期に武甲山麓の民家の部材を用いて建設したと伝える。東面して建つ木造2階建、南北棟の切妻造、棧瓦葺。藪田家住宅表門の1間1戸四脚門も登録文化財。



⑲ **武甲酒造柳田総本店店舗**
登録有形文化財
平成16年2月17日登録
秩父市宮側町
建築年代：江戸時代後期

秩父往還に東面して建つ。木造2階建、切妻造、鉄板葺。1階正面には開放的な構えとし、2階は横長の開口部に繊細な格子戸を立て込む。全体的にたちが低く、屋根勾配も緩やか。



④ **札所13番 旗下山慈眼寺**
市指定史跡
昭和40年1月25日指定
秩父市東町

本堂は石積壇上に建ち、三間四面で表軒唐破風つきの入母屋造で、屈指の堂である。明治11年秩父大火で類焼し、その後再建した。本尊は、聖観世音立像。十三権者の像、一切経等が保存されている。



⑨ **御諏訪様 (諏訪本宮)**
秩父市番場町

この御諏訪様は、俗説によると武甲山の男神(龍神様)の「本妻さん」と呼ばれ、12月3日の祭りは、武甲山の神と秩父神社の女神(妙見様)が年に一度の逢瀬をする祭りといわれる。2日夜、お諏訪様へ3日の神幸祭の執行を報告する(お諏訪渡り神事)。3日夜、この近くを巡行する笠鉦・屋台は、お囃子を止めて静かに通過する。

